

第26回日本がん登録協議会学術集会のご案内

寺本 典弘 第26回学術集会会長

四国がんセンター



『日本がん登録協議会(JACR)』改称後初の学術集会およびがん登録担当者研修会の開催を担当させていただきます。

『がん登録等の推進に関する法律(がん登録推進法)』によりがん登録を取り巻く環境は大きく変わりました。『全国がん登録』により、これまでの地域がん登録の大きな問題点であった悉皆性はほぼ解決することが予想されます。一方、JACR正会員が行ってきた地域がん登録は国が主体となり、各地域での自由度・独自性は制限を受けるでしょう。並んで法律に記載された院内がん登録にとっても、法的裏付けを得ることが出来ましたが、実施や運用に法的な規制が加わります。がん登録推進法の施行を受け、両がん登録に対応すべく改称したJACRにとって、大きな転換期です。

その中で、JACRは全国がん登録・院内がん登録などすべてのがん登録関係者を対象とする協議会として、2つのビジョンと新たな活動目標として実務・利活用・情報提供に関する3つのミッションを打ち出しました。

院内がん登録と全国/地域がん登録は、名称は類似し、使われる用語は共通のものでも意味や目的が異なることがあります。両方の関係者もいますが、どちらか一方だけの関係者は他方に詳しい知識がありません。また、研究者はがん登録情報の生まれる現場を知らず、登録者は使われる目的がわからないという話も耳にします。そこで、学術集会では3つのミッションを軸にがん登録専門の協議会であるJACRの役割を掘り下げる、がん登録関係者の知識・情報の共有を図りたいと思います。研修会・教育講演は、両がん登録の関係者に役立つものを目指して企画しました。この会の参加者から両方の利点を活かした新しい解析や住民情報提供が生まれる・・・きっかけになれば幸いです。

学術委員会シンポジウム『new missions, a new hope』のテーマは、『JACRに何を期待するか』、『JACRの場で会員はどんな活躍が出来るか』です。予定調和的で総花的なシンポジウムに終わらないよう取り組むつもりです。

昨年までの学術集会のサブタイトルは漢字が多く硬かったので、大会を引き受けたときから、サブタイトルは映画的なものにしよう決めていました。Star Wars新シリーズの始動に触発されて、新しい門出を記念したタイトル『Cancer Registries:Episode II - A New Hope』にしようかと思っ

たのですが、おとなしく『The New Mission』になりました。

今大会では新しい試みを3つ用意しています。まずは、ポスターセッションを2回に分け、発信や交流の機会を充分持てるようにすること、次に一般口演のセッションを設けることです。この会報の時点ではすでに演題募集は終了していますが、何なら当日飛び入りでポスターを持参頂いてもかまいません。最後にそれに伴い会期を1日追加したことです。

情報交換会は、四国最大の百貨店高島屋ローズホールで行います。屋上観覧車・くるりんの乗り場の隣です。参加者は乗車無料ですので、ライトアップされた松山城や道後温泉をお楽しみください。松山は、一地方都市では類を見ないほどの充実した飲食店街を有し、瀬戸内・豊後水道・太平洋の魚介類、石鎚山やカルストからわき出る水で作られる地酒、質・量ともに日本一の柑橘類など食の面でも、しまなみ海道・四国カルスト・道後温泉など観光の面でも、俳句・小説など文化の面でも、“案外”魅力ある町です。Facebookページでは、観光や飲食店の案内を行っています。

愛媛県は地域がん登録の実質的な開始は平成19年で、入会後日も浅く、JACR会員としては若輩者ですが、記念となる大会を担当させていただくことを、愛媛県のがん登録関係者一同、大変光栄にも思っています。スタッフ一同でできる限り大会を盛り上げていきたいと思っています。特別ゲストも来る予定です。

6月に是非松山でお会いしましょう。

第26回日本がん登録協議会学術集会および
がん登録担当者研修会
平成29年6月8日~10日
愛媛県医師会館(愛媛県松山市)

JACR学術集会のご案内

<http://www.jacr.info/meeting.html>

